



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月1日

上場会社名 株式会社エフ・ジェー・ネクスト

上場取引所 東

コード番号 8935 URL http://www.fjnext.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 幸春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 兼 業務部長 (氏名) 山本 辰美 TEL 03-6733-7711

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	14,442	△3.1	1,595	△9.6	1,591	△12.8	877	△25.8
29年3月期第1四半期	14,905	46.7	1,764	50.9	1,824	56.6	1,183	55.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 884百万円 (△25.2%) 29年3月期第1四半期 1,181百万円 (56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	26.49	-
29年3月期第1四半期	34.84	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	57,421	36,291	63.2	1,095.16
29年3月期	58,631	35,804	61.1	1,080.48

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 36,291百万円 29年3月期 35,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	8.00	-	12.00	20.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	10.00	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	△9.8	2,300	△45.7	2,300	△46.6	1,400	△48.0	42.25
通期	64,000	4.2	6,000	△25.1	6,000	△26.0	3,900	△28.8	117.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	34,646,500株	29年3月期	34,646,500株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,508,357株	29年3月期	1,508,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	33,138,143株	29年3月期1Q	33,975,643株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
継続企業の前提に関する注記	8
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れや金融資本市場の変動など海外経済の不確実性が高まる中、政府による各種政策の効果を背景とした雇用や所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が継続しております。

不動産業界におきましては、平成29年上半年期（1～6月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数が前連結会計年度比1.9%増の1万4,730戸と4年ぶりに前年を上回り、年間供給戸数についても前年比6.2%増の3万8,000戸前後が見込まれるなど、回復に向けた動きがみられております。一方、需要面につきましては、物件価格の高止まり等の影響により、同期間の年間平均契約率は好調の目安と言われる70%を下回り、依然として調整局面が続いております（数字は株式会社不動産経済研究所調べ）。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」及びファミリーマンションの自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充にも積極的に取り組み、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高144億42百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益15億95百万円（前年同四半期比9.6%減）、経常利益15億91百万円（前年同四半期比12.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億77百万円（前年同四半期比25.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」、「ガーラ・レジデンスシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション307戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高102億55百万円（473戸）、ファミリーマンション売上高7億59百万円（20戸）、その他収入16億72百万円となり、不動産開発事業の合計売上高126億86百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益12億49百万円（前年同四半期比19.3%減）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高5億64百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益2億6百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、外部受注の増加等により、売上高10億12百万円（前年同四半期比67.6%増）、セグメント利益1億43百万円（前年同四半期比353.8%増）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、集客数が想定を下回り、売上高1億79百万円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント損失9百万円（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は546億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円減少いたしました。これは主に、仕掛販売用不動産が33億1百万円、未成工事支出金が2億1百万円増加した一方、販売用不動産が32億40百万円、現金及び預金が8億3百万円、受取手形及び営業未収入金が4億58百万円、繰延税金資産が1億29百万円減少したことによるものであります。固定資産は27億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

この結果、総資産は574億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億10百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は98億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定長期借入金が13億20百万円、預り金が1億10百万円増加した一方、未払法人税等が11億71百万円、支払手形及び買掛金が2億29百万円、未払消費税等が1億90百万円減少したことによるものであります。固定負債は113億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億34百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が15億20百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は211億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億97百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は362億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億86百万円増加いたしました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益8億77百万円であり、減少は剰余金の配当3億97百万円であります。

この結果、自己資本比率は63.2%（前連結会計年度末は61.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日発表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,324	14,520
受取手形及び営業未収入金	3,344	2,885
有価証券	82	32
販売用不動産	15,615	12,374
仕掛販売用不動産	20,474	23,776
未成工事支出金	36	237
原材料及び貯蔵品	28	28
前渡金	141	112
繰延税金資産	325	195
その他	487	492
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	55,859	54,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,398	1,397
減価償却累計額	△739	△758
建物及び構築物（純額）	658	638
土地	594	594
その他	285	286
減価償却累計額	△220	△227
その他（純額）	64	59
有形固定資産合計	1,316	1,291
無形固定資産		
投資その他の資産	49	49
投資有価証券	245	254
繰延税金資産	199	190
その他	971	990
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,406	1,425
固定資産合計	2,772	2,765
資産合計	58,631	57,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,274	1,045
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	3,000	4,320
未払金	449	362
未払法人税等	1,694	523
未払消費税等	484	293
預り金	1,660	1,771
賞与引当金	224	71
その他	682	920
流動負債合計	9,970	9,808
固定負債		
長期借入金	10,040	8,520
役員退職慰労引当金	753	754
退職給付に係る負債	405	410
長期預り敷金保証金	1,577	1,558
長期預り金	72	72
その他	6	4
固定負債合計	12,856	11,321
負債合計	22,826	21,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	30,749	31,230
自己株式	△789	△789
株主資本合計	35,789	36,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	21
その他の包括利益累計額合計	15	21
純資産合計	35,804	36,291
負債純資産合計	58,631	57,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	14,905	14,442
売上原価	11,169	10,812
売上総利益	3,736	3,630
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	183	276
給料手当及び賞与	661	657
賞与引当金繰入額	56	64
退職給付費用	13	14
役員退職慰労引当金繰入額	11	11
その他	1,045	1,011
販売費及び一般管理費合計	1,971	2,035
営業利益	1,764	1,595
営業外収益		
受取利息	0	0
違約金収入	68	5
その他	4	2
営業外収益合計	74	8
営業外費用		
支払利息	13	11
その他	0	0
営業外費用合計	14	12
経常利益	1,824	1,591
税金等調整前四半期純利益	1,824	1,591
法人税、住民税及び事業税	523	576
法人税等調整額	117	136
法人税等合計	640	713
四半期純利益	1,183	877
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,183	877

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,183	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	6
その他の包括利益合計	△1	6
四半期包括利益	1,181	884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,181	884
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,593	520	604	187	14,905	-	14,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	102	14	6	124	△124	-
計	13,594	622	618	193	15,029	△124	14,905
セグメント利益 又は損失(△)	1,547	182	31	△2	1,758	6	1,764

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6百万円には、セグメント間取引消去5百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,686	564	1,012	179	14,442	-	14,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	98	7	6	114	△114	-
計	12,688	662	1,020	185	14,557	△114	14,442
セグメント利益 又は損失(△)	1,249	206	143	△9	1,589	5	1,595

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額5百万円には、セグメント間取引消去5百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。